

国立大学法人東京外国語大学監事に求める人材像

国立大学法人東京外国語大学の監事監査は、法人としての健全性の確保及び教育研究等の活性化を支援し、高等教育機関としての大学の質の維持・向上に資すること等を目的として行うものである。

このことから、本学の監事として業務を円滑に遂行するためには、次のような要件を満たす人材が望ましい。

1. 学長、理事及び教職員等との意思疎通を図り、常に業務運営の状況を把握するとともに、業務運営上の課題の認識を深めるよう努める能力を有していること。
2. 業務を監査する職責にあるものとして、相当な注意を払い監査を行う能力を有していること
3. 監査意見を形成するに当たり、事実を確認し、必要があると認めるときは、外部専門家の意見を徴取し、合理的な判断を行うよう努める能力を有していること。
4. 職務を遂行するに当たり、独立性の保持に努めるとともに、常に公正不偏の態度を保持する能力を有していること。
5. 財務状況や決算状況の適切な監査を実施するため、財務や決算に関する専門的知見を有し、組織の監査を、公正かつ適切に遂行できる能力を有していること。